

「はたちの献血」キャンペーンのあり方について

令和2年9月10日（木）
薬事・食品衛生審議会
血液事業部会献血推進調査会

「はたちの献血」キャンペーンとは

○経緯

昭和50年に日本民間放送連盟（民放連）の呼び掛けで始まり、昭和62年から旧厚生省、都道府県、日本赤十字社の3者が主催。

○目的

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤の安定供給を確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、国民一人一人に献血の重要性を普及啓発し、献血運動を全国で盛り上げることを目的とする。

○期間

1月1日から2月29日までの2ヶ月間

○実施期間

主催：厚生労働省、都道府県、日本赤十字社

後援：一般社団法人 日本民間放送連盟、一般社団法人 日本民営鉄道協会
一般社団法人 日本コミュニティ放送協会

○実施事項

（令和2年1月から2月の実績）

- ・厚生労働省：各種広報手段の活用（厚労HP、月間「厚生労働」、政府広報ラジオ、yahoo!バナー広告）、ポスター配布、日本赤十字社、都道府県に対しキャンペーンへの協力要請
- ・日本赤十字社：各種広報手段の活用（TVCM,ラジオCM、キャンペーンサイト開設、オリジナルグッズの配布等）、ポスター配布、キャンペーンキャラクター起用（乃木坂46）、移動採血や献血セミナー等での普及啓発
- ・各都道府県：各種広報手段の活用（HP、SNS周知、新聞広告等）、ポスター掲示、成人式での広報資材配布等

「はたちの献血」キャンペーンのあり方に関するアンケート

○目的

令和4年4月に成年年齢が18歳に引き下げられること等を踏まえ、より効果的な献血の推進策を実施するため、キャンペーンのあり方について検討する。

○対象

キャンペーン主催者である各都道府県及び日本赤十字社、後援団体である（一社）日本民間放送連盟、（一社）日本民営鉄道協会、（一社）日本コミュニティ放送協会、若年層に対し手の献血推進及び献血思想の普及を行っている学生献血推進ボランティア

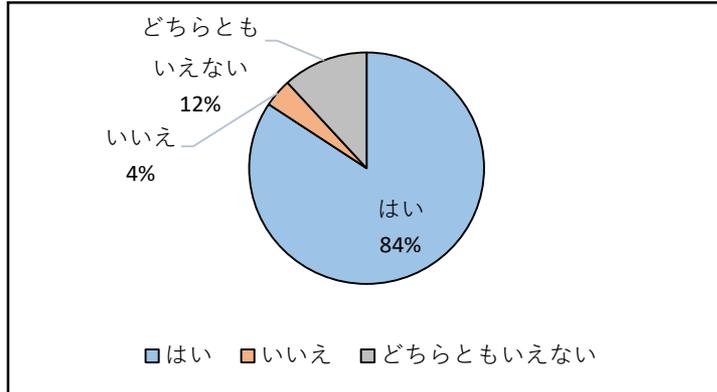
○回答期間

令和2年6月12日から7月3日

○アンケート結果（調査52団体、回答51団体、回答率98%）

「はたちの献血」キャンペーンのあり方に関するアンケート

Q1 : 「はたちの献血」キャンペーンは、若年層向けの広報として効果的だと思いますか。



Q2 : 「はたちの献血」キャンペーンは、若年層向けの広報として効果的だと思いますか。

①はい

- ・成人式で広報しているから
- ・人気アイドルをキャンペーンキャラクターにしているから
- ・長年継続しているキャンペーンであるから
- ・対象が限定されており、分かりやすいから

②いいえ

- ・広報内容が他のキャンペーンと共通しており、特段効果的とはいえない

③どちらとも言えない

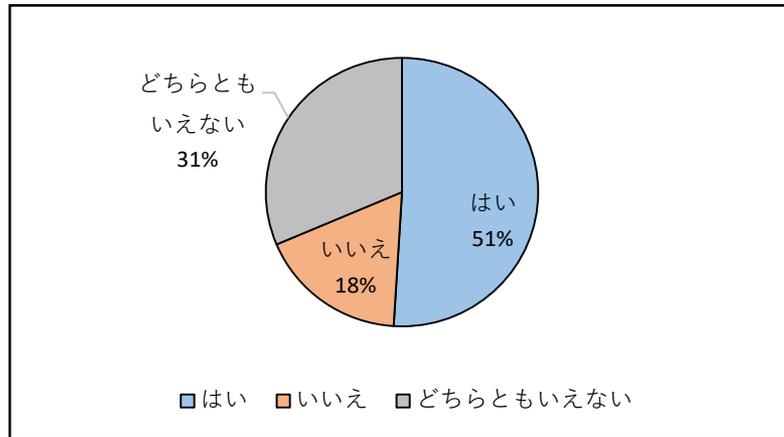
- ・はたちに限定することによって対象が限定される印象があるため
- ・施策の方向性が不明なため
- ・20代の献血者数の増加につなげていない

Q3 : より効果的なキャンペーンとするためのアイデアがあれば教えてください (抜粋)

- ・マスメディアやSNSで情報発信をする
- ・若年層に人気のある有名人に広報してもらう
- ・高校生も広報の対象とする
- ・大学など教育機関の協力を得る
- ・ポスター、記念品の作成

「はたちの献血」キャンペーンのあり方に関するアンケート

Q4：「はたちの献血」キャンペーンの名称を変更した方がよいと思いますか



Q5：新名称の候補やコンセプトがあれば教えてください（抜粋）

- ・広く若年層を対象とする名称にすべき
- ・18歳の献血
- ・新成人の献血
- ・若者の献血
- ・はじめての献血

Q6：その他ご要望等があれば教えてください（抜粋）

- ・キャンペーンの時期は受験と重ならないよう配慮すべき
- ・成人式は20歳で行うところが多いため、名称変更はしなくてよい
- ・キャンペーンの名称は長年かけて周知しているのでそのままがよい
- ・他の世代を対象としたものがあってもよい
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の中でも十分に普及啓発が行えるキャンペーンとしていただきたい
- ・造血幹細胞移植事業も一体で進めて欲しい
- ・採血可能年齢について誤解を招くので名称に年齢を入れない方がよい

※自由記述について別紙も参照

参考：成人式の時期や在り方等に関する報告書(令和2年3月)※本資料用に一部加工

(法務省：成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議 成人式の時期や在り方等に関する分科会)

○本報告書の目的

分科会において収集した情報を取りまとめたものであり、各地方公共団体に向けてこれらの情報を発信することを目的として作成されたもの。

○祝日法における成人の日の意義と民法の成年年齢の関係について

祝日法において、**成人の日は、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする成年を祝いはげます」日と定められている。「おとな」の年齢については、明確な定義を設けないこととされており、民法の成年年齢を必ずしも一致するものではない。**また、**祝日法において、成人式に関する規定はない。**

(出典)

成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議 成人式の時期や在り方等に関する分科会 (第8回)

資料1：成人式の時期や在り方等に関する報告書

<http://www.moj.go.jp/content/001318263.pdf>

参考：成人式の時期や在り方等に関する報告書(令和2年3月)※本資料用に一部加工

(法務省：成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議 成人式の時期や在り方等に関する分科会)

○アンケート結果

・全市区町村を対象とした調査結果（対象1,741、回答1,037）※回答期間：令和元年6月4日から14日まで

【対象年齢】

現在の成人式の対象年齢

- 1. 20歳（年度中に20歳に達する人＝19歳の者と20歳の者が対象となる） 969回答（93.4%）**
2. 21歳（年度中に21歳に達する人＝20歳の者と21歳の者が対象となる） 65回答（6.3%）
3. その他 3回答（0.3%）

成年年齢引下げ後の成人式の対象年齢に関する方針決定

1. 決定している 67回答（6.5%）
- 2. 現在検討中である 683回答（65.9%）**
3. 検討していない 287回答（27.7%）

※ 成人式の対象年齢については、「現在検討中である」との回答が最も多い。

成年年齢引下げ後の成人式の対象年齢※上記回答にて「1.決定している」と回答した67市区町村対象

1. 18歳（年度中に18歳に達する人） 2回答（3.0%）
2. 19歳（年度中に19歳に達する人） 1回答（1.5%）
- 3. 20歳（年度中に20歳に達する人） 61回答（91.0%）**
4. 21歳（年度中に21歳に達する人） 3回答（4.5%）

※ 20歳または21歳にした理由としては「18歳で成人式を実施すると、実行委員会の活動時期と受験などの準備期間が重なり、新成人らが実行委員会に参加することが難しくなるから」、「対象者が集まりやすいから」、「民法の成年年齢と成人式の対象年齢は必ずしも一致させる必要がないから」、「現状を変える必要がないから」

18歳または19歳とした理由は「民法の成年年齢が18歳に引き下げられたから」、「法律上、「大人」として扱われることになる年齢の前後で成人式をすることにより、若者の自覚を促すことができるから」

参考：成人式の時期や在り方等に関する報告書(令和2年3月)※本資料用に一部加工

(法務省：成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議 成人式の時期や在り方等に関する分科会)

【実施時期】

現在の成人式の実施時期

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 1月（成人の日を含む三連休） | 776回答（74.8%） |
| 2. 1月（成人の日を含む三連休以外） | 143回答（13.8%） |
| 3. 3月（春休みなど） | 3回答（0.3%） |
| 4. 4月・5月（ゴールデンウィークなど） | 12回答（1.2%） |
| 5. 8月（お盆の時期など） | 96回答（9.3%） |
| 6. その他の時期 | 7回答（0.7%） |

成年年齢引下げ後の成人式の実施時期に関する方針決定

1. 決定している 94回答（9.1%）
- 2. 現在検討中である 610回答（58.8%）**
3. 検討していない 333回答（32.1%）

※ 成人式の実施時期については、「現在検討中である」との回答が最も多い。

成年年齢引下げ後の成人式の実施時期※上記にて「1. 決定している」と回答した94市区町村

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 1月（成人の日を含む三連休） | 68回答（72.3%） |
| 2. 1月（成人の日を含む三連休以外） | 7回答（7.4%） |
| 3. 3月（春休みなど） | 0回答（0.0%） |
| 4. 4月・5月（ゴールデンウィークなど） | 1回答（1.1%） |
| 5. 8月（お盆の時期など） | 18回答（19.1%） |
| 6. その他 | 0回答（0.0%） |

※ 既に方針を決定している94市区町村は全て現在の実施時期と同じ時期。

参考：成人式の時期や在り方等に関する報告書(令和2年3月)※本資料用に一部加工

(法務省：成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議 成人式の時期や在り方等に関する分科会)

・16歳から22歳までの年齢層（以下、Aとする。）及び40歳から59歳までの年齢層（以下、Bとする）を対象とした調査結果（対象A 3,500 B1,500 回答A1,802 B958人）※回答期間：平成30年11月29日から12月24日

【対象年齢】

成年年齢引下げ後の成人式の対象年齢

- | | | |
|-----------------------------|------------------------|-----------------------|
| 1. 18歳（年度中に18歳に達する人） | A：341回答（18.9%） | B：330回答（34.4%） |
| 2. 19歳（年度中に19歳に達する人） | A：135回答（7.5%） | B：60回答（6.3%） |
| 3. 20歳（年度中に20歳に達する人） | A：1295回答（71.9%） | B：527回答（55.0%） |
| 4. 21歳（年度中に21歳に達する人） | A：11回答（0.6%） | B：6回答（0.6%） |

※ いずれの年齢層でも20歳の方を対象に実施するのがよいと思う者の割合が最も多い。

【実施時期】

成年年齢引下げ後の成人式の実施時期

- | | | |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|
| 1. 1月（成人の日など） | A：1142回答（63.4%） | B：535回答（55.8%） |
| 2. 3月（春休みなど） | A：434回答（24.1%） | B：182回答（19.0%） |
| 3. 4月・5月（ゴールデンウィークなど） | A：130回答（7.2%） | B：87回答（9.1%） |
| 4. 8月（お盆の時期など） | A：53回答（2.9%） | B：86回答（9.0%） |
| 5. その他の時期 | A：25回答（1.4%） | B：45回答（4.7%） |

※ いずれの年齢層でも1月に実施するのが良いと思う者の割合が最も高い。

Q2

●「はたちの献血」キャンペーンは効果的だと思う

- ・ キャンペーン名称が定着している、式典等で広報できる
- ・ 成人式等の行事があり多くの方に一度に献血を周知できる、二十歳という節目であり関心を持ちやすい
- ・ 新社会人や学生が献血に取り組むきっかけになるため
- ・ 各市町村において成人式の式典等に間に合うようPRを行うなど成人としての自覚を持つ機会を利用して啓発していることから人生における大事な節目と感じている若者も少なからずおり通常の啓発よりPR効果が大きいと思われる
- ・ 新成人として自発的な献血行動を喚起するために効果的
- ・ ショッピングセンターにおける啓発活動や各種広報の活用等により献血に触れる機会が増え献血をするきっかけになるため
- ・ 各市町村の成人式でチラシを配布するなど啓発の機会となるため
- ・ 各市町村では成人式実施日に対象者に献血の啓発資料を配付しており効果的である
- ・ はたちという人生の節目に献血について考えるきっかけの一つになりえると思う
- ・ キャンペーングッズ目的で献血に来てくれる若年層が多くいます。人気のアイドルとのコラボは効果があります。
- ・ 血液センターの一日所長の囑託や新成人に向けたメッセージの伝達等各種イベントを展開するなど若年層向けの広報として定着しているため
- ・ 本県において成人式に啓発資材の配布、街頭キャンペーンを行っており、はたちを迎えた方の効果的な広報となっている
- ・ 昨今若年層において認知度が高いキャンペーンキャラクターの採用により広報の効果はあると考える
- ・ 40年以上継続しているキャンペーンなので認知度は高いと思います
- ・ 対象者が限定されているための絞った啓発を行いやすい。当県では期間中に実施される各市町村での成人式において啓発資材を作成し参加者に配布している
- ・ 県内の高校生に向けては県赤十字血液センターと連携しチラシの配布等啓発活動を行っており、若年層に向けて高校生年代からの継続した広報を行うことが重要であるため
- ・ キャンペーンのネーミング自体が若者向けとなっているため、また、当県では例年成人の日にあわせて「はたちの献血」キャンペーンのイベントを行っており当日は若者の献血者も多く効果があると思う
- ・ 成人になるのを機に献血の意義を考えてもらうとともに、若者の一人として当事者意識を持ってもらい献血者数が減少傾向にある若年層に対して献血推進及び献血思想の普及につながるため
- ・ 長年にわたり実施されており「はたちの献血」の認知度は高いと思うため。また、語呂がよい。
- ・ 自分自身このキャンペーンで献血について興味を持ったから。成人式の日には新成人や友人兄弟など多くの若年層が町に訪れる、そのような場所で献血を行えば必然的に若年層に献血について触れてもらいやすくなると思うから。今まで献血したことがなかった方に「はたちの」という名前をつけることによって献血をするきっかけになるから。同年代に呼びかけられた方が興味や関心を持ちやすいから。若年層の献血者数を増やすことは非常に重要であり影響力がある方が呼びかけることで献血者数の増加につながると思うから。大々的にCMやポスターでキャンペーンを打ち出していることもあり献血に興味がない人の目にも多く触れるきっかけとなるため。
- ・ アイドルをキャラクターにするなど若年層に遡及するキャンペーンだと思います
- ・ 献血は年間を通じて必要であり夏季の「愛の血液助け合い運動」、冬期の本キャンペーンを実施することで継続的に広報できるから
- ・ ポスターの学校等への配布及び掲示などにより学生をはじめとした若年層への献血啓発につながっていると思います
- ・ 本県では高校献血が盛んであるが、卒業すると献血の機会が減少する。献血について改めて考えてもらうきっかけとして効果があると思う
- ・ 献血をしたことがない方へもよいきっかけとなると思います

- ・ 若年層に人気のある芸能人を広告塔にしている、献血に興味のない人も目を引くキャンペーンだと思います
- ・ 期間を決めて集中的に広報するため
- ・ 20代に一斉に啓発できる手段はなかなかないことから、1つの機会として効果的だと思います
- ・ 対象が限定されていることで若年層により意識してもらいやすい
- ・ 有名人を起用した広報等、長年定着していると考えられるため
- ・ 成人式に出席する方への献血の普及啓発を行うよい機会となるため
- ・ 血液が不足する冬期に成人式を迎える若者に献血の協力を呼びかけることにより献血をしてみようというきっかけになるから
- ・ 例年学生献血推進協議会やボランティア団体の方々にもキャンペーンに参加いただき若年層への普及啓発に効果的と思えるから
- ・ 成人式の開かれる冬場は献血が減る傾向があること、新成人となるタイミングで若年層に社会貢献の手段をアピールする機会となることから効果的であると思います
- ・ 長年続いたことにより「はたち」＝「献血」として献血を推進する定着した広報であることから
- ・ 本キャンペーンは主に新成人等若年層を啓発のターゲットにしぼったものになっており、若年層向けの取組として効果的なイベントを考える
- ・ マスコットキャラクターを活用したイベントの開催や若年層に人気のある有名人を起用した広報活動を行うことにより若年層の献血への関心を高めることができているため
- ・ 成人式と関連づけて区市町村へ広報を依頼することが可能であるため。ただ、20歳以外も含む若年層全体への普及啓発活動だと伝わるよう配慮する必要があるかと思います
- ・ 現状学校で献血に関する講習を受ける機会は少ない。そのため若年層に直接よびかけを行う当該キャンペーンは有効と考える
- ・ キャンペーンの名称からターゲットを想起しやすいため
- ・ 人生の節目を迎えた若者に対し呼びかける機会が設けられていることで目に触れる機会が増えるという点で一定の効果はあるのではないかと思う
- ・ 同年代の有名人をキャンペーンキャラクターにすることで献血を身近に感じてもらえる。また、「はたちの献血」という名称が視覚的にも効果があり、はたちをきっかけに献血を、とのPRになっていると思う
- ・ 「はたちの献血」は、1975年（昭和50年）から厚生労働省及び各都道府県ともにキャンペーンの主催者となり、若年層を中心に献血推進活動の普及に努めている。また、後援団体の（一社）日本民間放送連盟、（一社）日本民営鉄道協会、（一社）日本コミュニティ放送協会、におかれましても「みんなの献血」を始め広報支援もいただいております。若年層献血推進活動強化の一環として効果的である。

● 「はたちの献血」キャンペーンは効果的だと思わない

- ・ 献血基準が17歳から18歳に変更されており若年層20歳以下に向けての広報とはいえない
- ・ 「みんなの献血」「愛の血液助け合い運動」月間等様々なキャンペーンがあるが、現状、対象者及び広報内容はほぼ共通しており「はたちの献血」キャンペーンが特段若年層向けの広報として効果的だといえない

● 「はたちの献血」キャンペーンは効果的かどうかどちらとも言えない

- ・ はたちに限定することによって対象が限定される印象があるため
- ・ 若年層への献血普及の動機付けとして20歳については献血可能年齢とも無関係で成人になること以外には関連性がないと思われる。成年年齢が18歳になるとなぜ20歳になったら献血するのかキャンペーンの意味を感じさせられないから
- ・ 若年層向けの広報としては必要であるが20代の献血者の増加につながっていないため
- ・ 施策の方向性が不明なため
- ・ 例年はたちの献血キャンペーンは1、2月に実施されますが、当県では成人式の開催時期が市町村によって8月と1月に分かれているため8月に開催される市町村の新成人にも啓発が行き届くよう県独自で啓発事業を行っています。新成人向けに同様の啓発が重複しているため当県においては効果的な取組とはいえません。
- ・ CM等を見たときは気にかけるが、記憶に残らないから

Q3

●より効果的なキャンペーンとするためのアイデアがあれば教えてください

- ・ 高校生で成人を迎えることになるため、高校生献血の機会と結びつける
- ・ 学祭の時期（秋頃）にも周知してはどうか
- ・ 若年層において献血の重要性は十分に認識しておりながらもその意識が実際の献血行為に関するネガティブな感情やイメージが払拭できていないことから、様々なSNS等を活用した同年代の芸能人の献血体験等のメッセージ動画の配信などを行う
- ・ 新型コロナの影響によりイベントの開催が困難となる可能性がある、マスメディアやSNSによるリモートでの啓発をさらに進める
- ・ 標語募集案内についても市町村の広報誌に掲載する
- ・ SNSによる情報発信
- ・ ゲーム性のあるもの：毎月参加でコンプリートを目指す、オリジナルスタンプのプレゼント、人気楽曲のダウンロード
人気アーティストの起用：限定動画配信
- ・ 対象者だけでなくそのご家族（両親、兄弟姉妹）にも献血への協力を呼びかける。
- ・ 著名人を起用した広報活動の継続
- ・ 献血自体は20歳未満でもできるため、より若い年齢を対象にしてもよいと思います
- ・ 夏祭りなどのお祭りは若年層が多く訪れる上に暇をもてあましやすいためそのような場を利用するとよいと思う。ハロウィンキャンペーン。若年層への献血者数増加が目的であれば「はじめての献血」「君にもできる献血」「君にもできる人助け」のような感じで高校生にもできることを謳うべきかとおもう。200mlの需要が少ないのは分かるが、献血を一度でもしてもらうことの方が、若年層献血者数増加のためには必要であると思うから。乃木坂46とのコラボはとても効果的だったと思います。駅や学校などにもポスターを貼り大々的なアピールをするとよいと思う。実際に献血を経験した方や献血による血で助かった影響力のある方をアンバサダーにする。学推からも「はたちの献血」に関する活動をするだけでもっと全国的な活動として活発になるのではないかと思う。
- ・ 継続することが効果的だと思います
- ・ 若年層がみるような媒体（SNSなど）をもっと有効活用するべきではと思います
- ・ 日赤で行っている「みんなの献血」キャンペーンと連動し「はたちの献血」のポスター等にも同じイメージキャラクターを利用した方が注目されると思われる
- ・ 若年層に人気があり、影響を与える人（芸能人、スポーツ選手、アニメなど）に広報してもらう
- ・ 各種クリスマスイベント会場で「献血セミナー」を実施する
- ・ 大学など教育機関の協力が得られるとよりキャンペーンが浸透するのではないか
- ・ 若年層に人気のあるタレント等に自身のSNSで呼びかけを行ってもらう
- ・ 実施事項をより特化し全国で統一の取組を実施する
- ・ 初めて運転免許取得時の献血キャンペーンの促進（自動車学校等）
- ・ はたちの献血、みんなの献血等多くのキャンペーンがあるがコンセプトが一般の方には認知されていないと思う。従来の複数のキャンペーンを若年層への啓発を目的としたキャンペーン一つに絞り込み、年間計画をたてて啓発に取り組んだ方が一般の方へ浸透しやすいと思う
- ・ SNSの積極的な活用
- ・ 10代、20代向けの雑誌に広告や特集記事を掲載する。テレビやYouTubeでCMを流す
- ・ 献血者のみが応募できるプレゼント企画。キャンペーン中若者向けノベルティ品、温かいお茶についてるとか。記憶に残るCM。
- ・ 二十歳に限らず10代や20代、卒業生で区切りキャンペーンを実施すれば対象者が広がり興味を持つ人が増えるのではないか
- ・ 今後も同年代の有名人をキャンペーンキャラクターにしたPRを続けて欲しい。
- ・ 通年にわたり、ポスター・記念品等の作成に加え、時代に順応した広報展開（YouTube等のインターネットメディア等も活用）なお、日本赤十字社において、イメージキャラクターを活用したポスター制作。

Q5

●新名称の候補やコンセプトがあれば教えてください

- ・ 18歳の献血、新成人の献血
- ・ 「若年層（新成人）への献血」と「冬期の（献血者減少に対応した）啓発を分けて実施したらどうか
- ・ 成人の式典の名称とし式典の時期にあわせてキャンペーンを行う
- ・ 献血者数が減少しているのは10代20代だけでなく30代40代の働き盛り世代も減少傾向にあることから血液を必要としている一人の患者をみんなで支える献血のような名称がよいと思います。
- ・ 18の献血、18歳からの「はたちの献血」、みんなの献血
- ・ 「～歳の献血」にこだわらなくてよいと思う。「新成人の献血」
- ・ 18歳から男女ともに成分献血が可能となるため、最初の意識付けが重要だと考えます
- ・ 献血はそもそも20歳から可能というわけではなく成年年齢でもなくなることを鑑みると変更すべきと思われる例として「18」「成年」「若者」等を推した方がよいと思います
- ・ 「はじめての献血」、「ふらっと献血」、「誰かのため」をやってみよう、ボランティアは∞（無限大）、「成人の献血」
- ・ 「大人への一歩」献血キャンペーン、「フレッシューズ献血」キャンペーン
- ・ 「冬の血液助け合い運動」従来の目的（冬期の献血確保と成人を迎える若者への啓発）を踏襲しつつ、成人年齢引き下げによるはたちという概念を取り払うため名称変更はした方がよい。一方で本来16歳から献血はできるため成人（18）したから献血するまたはできるという誤解を招くキャッチコピーは賛同しかねる。また、仮に「成人」を迎える若者への啓発を全面的に押し出す場合、成人式が大学入試のシーズンと重なるため令和4年度から出席者の少ない成人式で啓発活動を行うことが予想される。単純に夏と冬の年2回のキャンペーンという位置づけに見直してはどうか
- ・ 若者の献血、成年の献血、青春18けんけつ、成年18献血、十八の献血（永遠（とわ）の献血）
- ・ 名称は若年層の目にとまるような端的でポップなもの（たとえば英語など）はどうか。SNS等若者が使用するツールになじむようなものだと目にしてもらいやすくなる可能性があり、当県で作成するポスターやリーフレット等の広告媒体にも記載しやすいです
- ・ 新名称：はじめての献血～果たそう役割～
コンセプト：17歳～18歳向けの年中キャンペーン
- ・ 成年年齢引き下げにともないキャンペーンとしてはたちに固執する必要はないと思う。現状府内各地域においてははたちの献血キャンペーンを実施する場合は成人式がメインとなっているが今後各自治体ごとに成人式の参加対象年齢にばらつきが生じる可能性が高い。そうすると現場での混乱も生じかねない。よってQ3の回答にも記載の通り「はたち」の若者限定ではなく広く若年層を対象としたキャンペーンにすべきと考える
- ・ はたちではなく若者全体を対象とする名称を用いる
- ・ 「18歳の献血キャンペーン」全種の献血が可能になる18歳になれば一度献血を経験してみようとするキャンペーンを行う
「高校卒業時の献血キャンペーン」高校を卒業し大学、社会人となる次なるステップを迎える時期に献血を経験してみるキャンペーンを行う、（比較的時間があがり人生ステップアップにあわせて体験を誘導できれば効果あるのでは
- ・ 「成人」を対象としたキャンペーンであることがわかるような名称とする
- ・ 「はたち（20才）」や「成年（18才）」といった年齢限定を想起させるような名称ではなく、若年層（10代～20代）を中心とした年代に幅をもたせた献血機会を啓発できるようなキャンペーンの名称であってほしい。

Q6

●その他ご要望等

- ・ キャンペーンの時期は受験シーズンに重ならないよう配慮すべき
- ・ はたちの献血キャンペーンは伝統的な行事を活用しており継続すべき。仮にキャンペーンの時期を18歳に変更した場合などは受験シーズン等と重なるため難しいと思われるため新たにキャンペーンを追加するなら16歳位を対象のものとすべき。
- ・ 18歳あるいは20歳での成人式の実施は各自治体にゆだねられているが「はたちの祝い」「はたちの集い」等20歳を対象に行うところが多いため名称変更はしなくてよいと考える
- ・ キャンペーンの名前は長年かけて周知しているものと考えられるのでそのままがよいかと考えます
- ・ 16歳から献血が可能なので16歳からのものや、30歳代のもの等新しいものがあってもよいと思います。当県では昨年度から高校生を対象とした「18G（ゲージ）を乗り越えろ！」をスローガンにリニューアルしたパンフレットと新たにポスターを作成配布しキャンペーンを実施しています
- ・ 二十歳向けのキャンペーンと新成人（18歳）向けのキャンペーンをそれぞれ実施することによりきめ細かく啓発することができるかと考える
- ・ 成人が18歳であっても現在の成人式の形式は20歳で実施される可能性が高いことから「はたちの献血」を啓発機会の一つととらえ、継続してよいと思います
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の中でも十分に普及啓発が行えるキャンペーンとしていただきたい。
- ・ 国でも同様な意見が出ているかと思うが都献血推進協議会でも「はたちの献血」という名称が献血が可能になる年齢が20歳からだとして誤解を招くのではという意見があり、年齢等をキャンペーン名に入れるのは避けた方がよいのでは
- ・ 造血幹細胞移植事業も同様に若年層への普及啓発が必要でありキャンペーンとしては献血と一体になって進めるようにしてほしい
- ・ 10代20代の新社会人を対象としたキャンペーンがあればよい
- ・ 2022年度以降、成人式をどのようにお考えであるか。